



北豊島小学校

校長室だより

第 17 号

令和7（2025）年2月10日



「やさしく豊かな心を持ち、共に学び、共に育つ 北小っ子」に！

「学校教育アンケート」の結果報告

保護者のみなさまに「学校教育アンケート」のご依頼を申しあげましたところ、何かとお忙しい時期にもかかわらず、多くの方より学校教育に対するご回答をいただくことができました。保護者アンケートの結果をグラフ化した資料も掲載しますので、ご参照ください。

児童と教職員を対象としたアンケート診断の結果も合わせ検討した概要について、以下の通り報告させていただきます。学校といたしましては、今回のアンケート結果を全教職員が真摯に受けとめ、今後の学校教育の改善に生かすようにいたします。

のべ 307 人の保護者の方より回答をいただきました。（原則、1家庭1回答と依頼したので、回収率 76%）

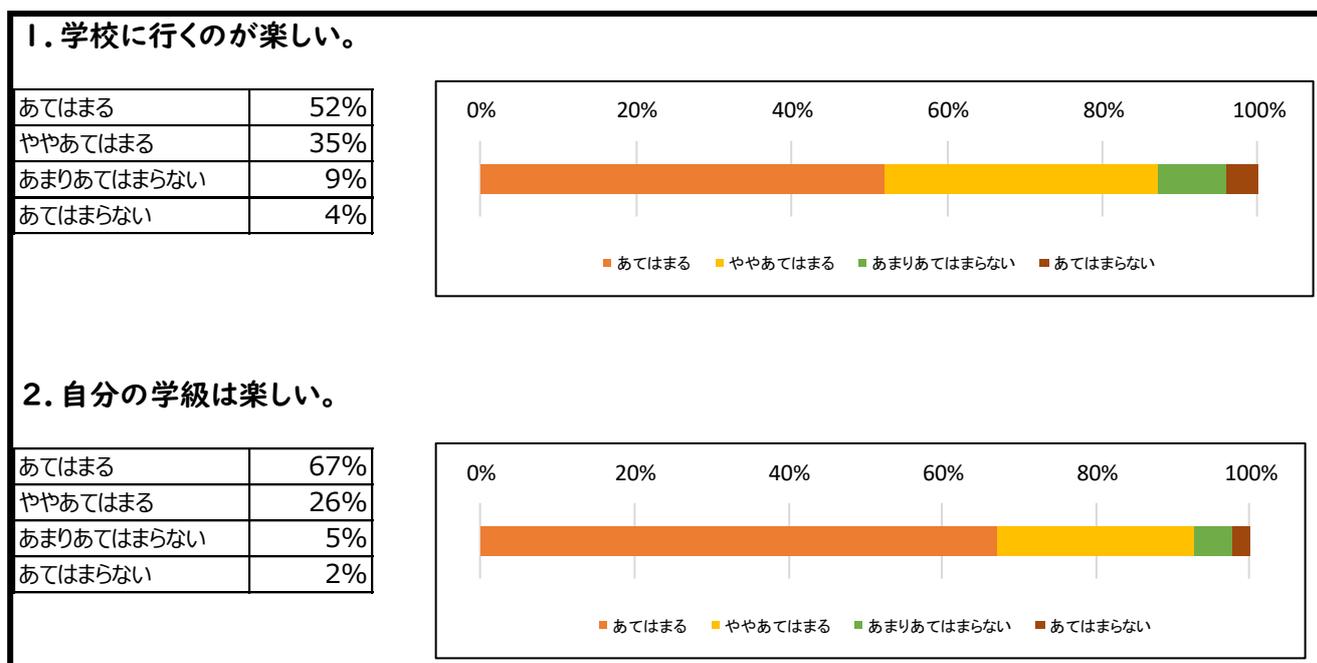
※文章中の設問において、児童アンケートは（児）、保護者アンケートは（保）、教職員アンケートは（教）の表記とさせていただきます。数値は設問に対する肯定的回答の割合となります。

学校生活

「学校に行くのが楽しい（児）」という設問に対して、87%の肯定的回答となりました。また、「自分の学級は楽しい（児）93%」「学校にはなかのよい友だちがいる（児）98%」は肯定的回答が高い値となっています。

保護者についても「子どもは学校行くのを楽しみにしている（保）」「子どもは自分の学級は楽しいと言っている（保）」「子どもは学校に友だちがいると言っている（保）」において、9割を

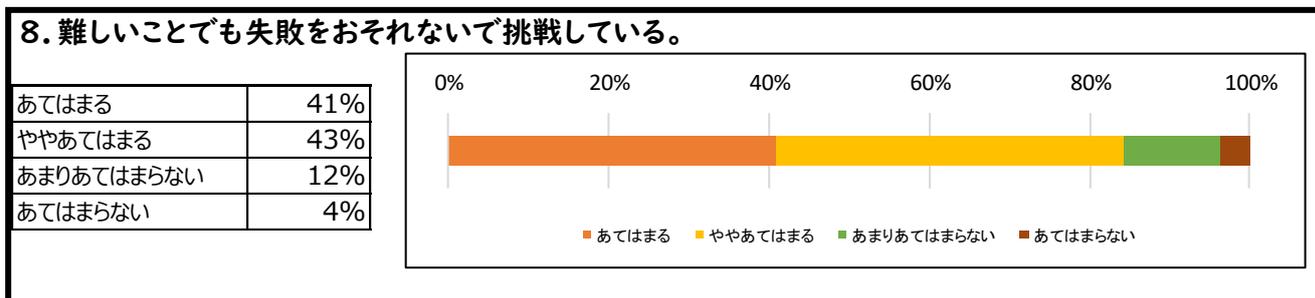
超える肯定的な回答をいただきました。年度当初から重点に取り組むこととして『「学校が楽しい」と言える子どもの育成』を教職員全員で確認してきました。「『学校が楽しい』と言える子どもの育成を意識して取り組んでいる(教)」に対し、全員の教職員が肯定的な回答を示しています。



児童には折にふれ、「自分から楽しい学校を創っていこう!」と呼びかけてきました。肯定的回答が多いものの、否定的回答をしている児童もいます。今後も、子どもたち同士が認め合い、どの子にとっても学校や学級があたたかく居心地のいい雰囲気になるよう努力します。

「学校やクラスのきまりを守っている(児)92%」保護者についても「子どもは学校のきまりを守っている(保)」において、9割を超える肯定的回答となっています。大切にしなければいけないことは、子どもたちはよくわかっています。また、「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している(児)84%」「行事などにすすんでとりくんでいる(児)88%」と、昨年度より前向きに行動できる力を持ってきています。「学校行事が児童にとって魅力あるものになるため、工夫・改善を行っている(教)」に対し、全員の教職員が肯定的な回答を示しています。

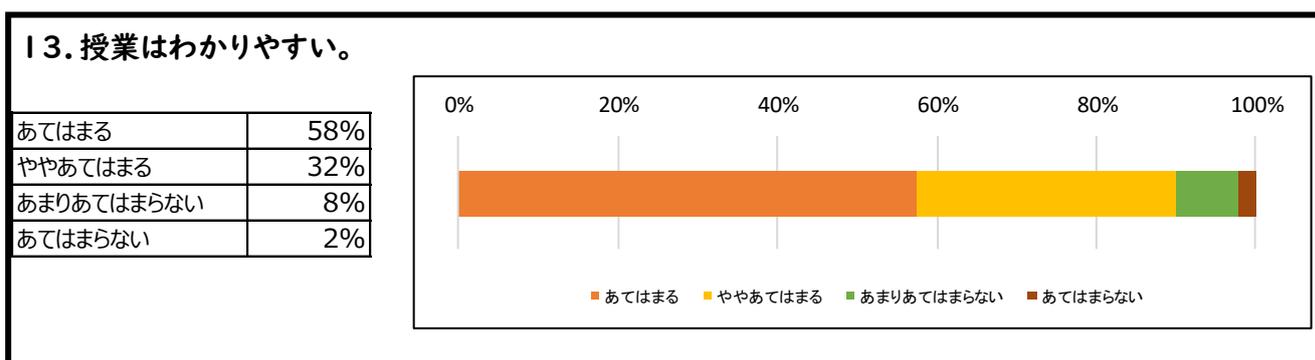
一方で、「自分からすすんであいさつしている(児)82%」は他の項目に比較すると、保護者の回答(74%)も否定的な回答の割合が多くなっています。



学習の様子

「授業はわかりやすい(児)」という設問に対して、肯定的回答が90%でした。保護者についても「子どもは授業がわかりやすいと言っている(保)」において、9割近い肯定的な回答をいただきました。教職員のほとんどが「児童の実態を踏まえ、指導方法の工夫・改善を行っている(教)」ことに意識をしています。「授業でわからないことについて、先生に聞きやすい(児)82%」とは肯定的回答が必ずしも少なくないものの、否定的回答(6%)も見られました。

今後も、子どもたちにとってわかりやすい授業をめざして、教職員全体で指導方法の研究・研修を行っていきます。



今年度、本校では「人と人とのつながりから学びを深め、自分や他人を大切に作る学校」を研究テーマとし、副題とした「学びあう喜びのある授業」をめざし授業研究を進めてきました。教職員のほとんどが研究テーマを意識して授業を進め、「自分の考えを持ち、伝え合う学習活動

(教)」を意識しています。

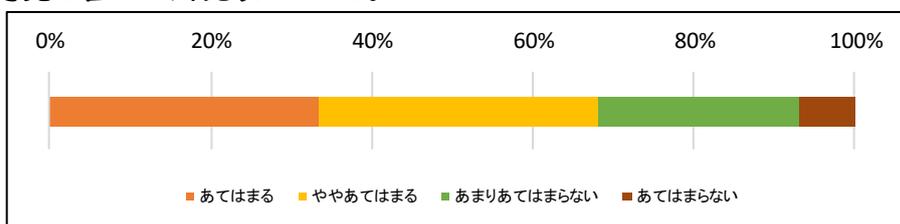
授業中、「ノートやプリントに自分の考えを書く場面がある(児)89%」「自分の意見や考えを伝える場面がある(児)86%」「これまで学習した内容をふりかえる機会がある(児)89%」の項目では、肯定的回答が多くなりました。

一方で「授業中、自分から積極的に意見を言ったり、発表したりしている(児)68%」「相手にわかりやすく自分の考えを書いたり、話したりしている(児)80%」という項目は、昨年度より肯定的回答が増えたものの、他の項目と比較すると低い値となっています。

今後、子どもたちが自分の思いを伝え合い、認められるあたたかい集団の高まりを進めていきます。その上で、話し合い活動を通して「自分の考えをより深めたり、広げたり(児)80%」で
きる学習活動をよりすすめていきたいと考えています。

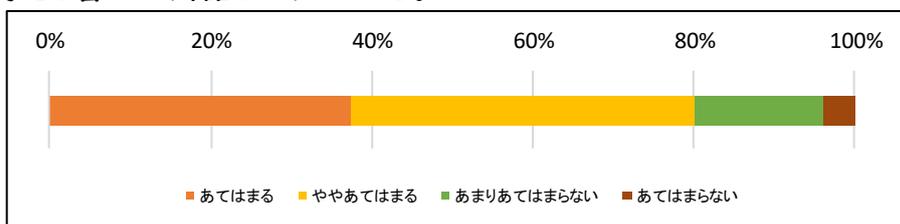
6. 授業中、自分から積極的に意見を言ったり、発表している。

あてはまる	33%
ややあてはまる	35%
あまりあてはまらない	25%
あてはまらない	7%



7. 相手にわかりやすく自分の考えを書いたり、話したりしている。

あてはまる	37%
ややあてはまる	43%
あまりあてはまらない	16%
あてはまらない	4%



子どもへの指導

先生は「自分が努力したことを認めてくれる(児)92%」「まちがったことをした時に、きちんと指導してくれる(児)90%」「いじめなどで困っている時に、真剣に対応してくれる(児)94%」と

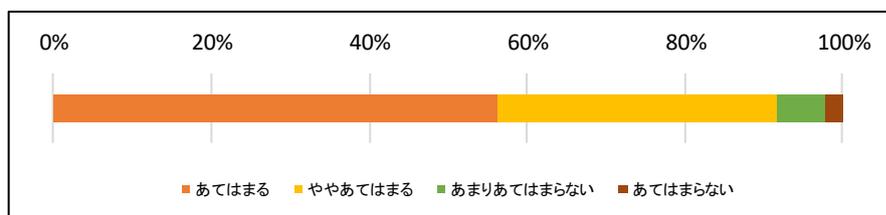
いう設問に対して、9割を超える肯定的回答がありました。

「いじめはどんな理由があっていけないことだと思う(児)94%」についての児童の肯定的回答は高いものとなっています。「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる(保)」という保護者への設問は、肯定的回答が9割となりました。

「先生は子どものことをよく理解している(保)95%」において、昨年度より肯定的回答が増え、数値が多いものとなりました。教職員では「児童による問題行動が起こったとき、組織的に対応できる体制が整っている(教)」「児童の情報を学年団で共有している(教)」の項目に対し、全教職員が肯定的回答を行いました。

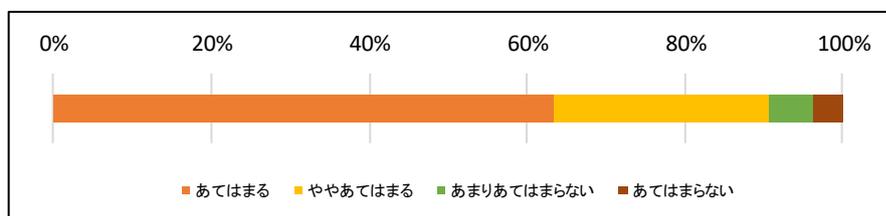
18. 先生は、自分が努力したことを認めてくれる。

あてはまる	56%
ややあてはまる	36%
あまりあてはまらない	6%
あてはまらない	2%



19. 先生はまちがったことをした時に、きちんと指導してくれる。

あてはまる	63%
ややあてはまる	27%
あまりあてはまらない	5%
あてはまらない	4%



今後も、子どもたちとのよりよい関係づくりや、気軽に相談できる環境づくりをさらにめざして
いきます。そのため、子どもたちを取り巻く様々な問題に対して、学級担任だけでなく、他の教職
員や外部機関とも連携を深め、「チーム学校」として対応を進めていきたいと考えています。

子どもが学校や学級が楽しいと感じなければ、学習の力を身につけたり、心身ともに健康な
体づくりをしたりすることもままなりません。一人ひとりの子どもが自分の良さを見つめ、自信を
もてるような場をつくらなければならないと考えます。

令和6(2024)年度 学校教育診断結果 【保護者アンケート】

回答数 のべ307人

あてはまる
あてはまらない
どちらでもない
わからない

診断内容	A	B	C	D
1 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	46%	42%	9%	3%
2 子どもは、自分の学級は楽しいと言っている。	51%	41%	7%	2%
3 子どもは、すんであいさつをしている。	32%	42%	23%	3%
4 子どもは、学校のきまりを守っている。	56%	39%	4%	1%
5 子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	34%	54%	9%	3%
6 子どもは、家庭での学習習慣を身に付けている。	30%	45%	21%	4%
7 先生は、子どものことをよく理解している。	47%	48%	5%	0%
8 学校生活の様子や学習の内容・進捗等を通信などによって知ることができている。	33%	50%	15%	2%
9 学校は、子どもが主体的意欲的に学習に取り組む態度を育てようとしている。	30%	55%	14%	1%
10 通知表は、子どもの学力や達成度をわかりやすく表すように工夫されている。	31%	54%	14%	1%
11 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	30%	59%	10%	1%
12 学校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	29%	59%	12%	0%
13 学校は、子どもの安全と健康を守ろうとしている。	45%	48%	6%	1%
14 学校は、施設・設備など、学習環境の整備に努めている。	33%	54%	12%	1%
15 池田市では小学校1年生から英語の授業をしていることを知っている。	80%	17%	2%	1%
16 子どもは、英語の授業を楽しんでいると思う。	46%	39%	12%	3%
17 北豊島中学校区「きたてしま学園」が進めている小中一貫教育の取り組みについて理解している。	28%	39%	25%	9%

